

「レゴブロック型思考力への転換」

この夏は4年に一度のオリンピックでテレビにくぎ付けになり、熱く燃えた夏休みではなかったでしょうか。金メダルに歓喜する姿、メダルが取れず涙する姿、メダルは取れなかったけれど自分の力を発揮し満足げな姿などなど、様々でした。結果はともあれ選手が頑張る姿にこれほど涙が出るものかと思うほど、私も涙してしまいました。人に感動を与えられることは素晴らしいことで、そこに至るまでには様々な苦勞があったことでしょう。目に見える苦勞もあれば、人知れず悩み苦しんだこともあったことと思います。

印象的な場面はたくさんありましたが、特にロンドン大会で金メダルなしに終わった日本柔道が今大会では目覚ましい結果を残しました。結果を残せた要因は何だったのでしょうか。様々な要因はあるでしょうが、ロンドン大会での日本柔道は、一本をきれいに取る理想の形にこだわるあまり、柔軟性を欠いていたのではないのでしょうか。

みなさんジグソーパズルをしたことはありますか。決められたピースを決められた場所に正確にかつ早くあてはめていく。学習にしても運動にしてもこれまでは、理想とする最終形があり、それに近づくため教員や指導者に与えられたピースを1つ1つ決められた場所にあてはめていけば、ある程度結果が出せたそんな時代であったかもしれません。

しかし、これからの時代は違うということを感じました。基本的な1つ1つのわざは変わらず大切でしょう。しかしその技をどう組み立て、どう勝ちに結びつけるのか。最終的な理想形は1つではなく、選手一人一人が考え、磨いてきた技を自分なりに考えて組み立てていくことが重要になってきているように感じました。例えて言うと、レゴブロックを組み立てるようなイメージでしょうか。1つ1つのブロックは基礎基本です。このブロックをしっかりと作り上げることは非常に大切なことですが、それをどう組み立て、何を

作っていくかは、みなさんが自分自身で考え、試行錯誤していかなければならないことでしょう。今の時代はまさしくそのような力、レゴブロック型の思考力・行動力が求められています。

この夏休みは、みなさんは様々な場面で、主体的に意欲的に行動してくれました。そしてまた結果を出してくれました。高校野球、インターハイ、総文祭、意見発表・プロジェクト発表の中国大会、家庭クラブの指導者養成講座、各種競技会などなど、みなさんの様々な場面での活躍を心から讃えたいと思います。

また、ボランティア活動にもたくさんの方が参加をしてくれました。保育園や老人ホームでのボランティア、家庭クラブの校内トイレ掃除、心ある生徒諸君の校内ペンキ塗りなどなど、特別なことではなく当たり前のことのように、人のために汗がかけるみなさんは素晴らしいと思います。

23日に行われた中学生向けの1日体験入学でも中学生の指導をするみなさんの姿は自信に満ちたものでした。これも日頃の学習活動、部活動、あいさつ・掃除・整理整頓といった凡事徹底の精神が一人一人の中に浸透してきている証拠であろうと思います。

今日は、2学期の始まりに当たり、これまでみなさんにお話ししてきたことを、レゴブロックに例えて話をしました。2学期はみなさん1人1人が自分自身で考え、主体的に行動する、チャレンジする場面がたくさんあります。体育祭、農業クラブの全国大会、農業祭、国体、新人戦、そして日々の学習。しっかり汗をかき、常識を学び、経験を積み、その常識を疑い、チャレンジしてみてください。充実した、実り多い2学期になるよう期待しています。